

近年、全国各地で

洪水被害が発生しています。



あなたの地域は、  
いざというとき、

安全な場所に避難できますか。

# まるごとまちごと ハザードマップ のススメ



長井市



河北町



中山町

## まるごとまちごと ハザードマップとは？

自分たちの街に洪水にかかわる情報を標示して、いざという時に被害を最小限にとどめよう！という取り組みです。

「想定浸水深プレート」は、洪水が発生したときの川の水で浸水する高さや、避難所までのルート等を表示するサインプレートです。この情報が、いざというときに住民が避難する時の助けになります。



想定浸水深・洪水時避難所標準プレート(例)



川西町

# 「洪水ハザードマップ」をご存知ですか？

「洪水ハザードマップ」は、河川のはん濫を想定して  
みんなが迅速、的確に避難を行うための情報が載っています。

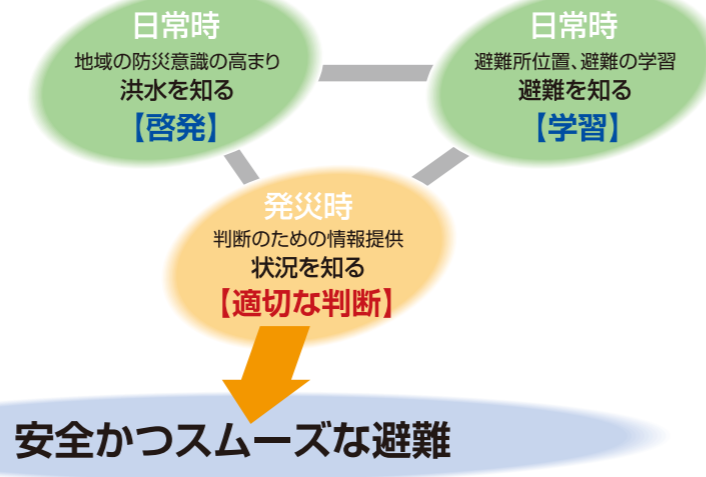


市町村で作成・配付しています。▲

## まるでまちごとハザードマップは、

実際に「洪水ハザードマップ」の情報を、まちなかに標示するものです。

住民自身が主体となって、「洪水ハザードマップ」に書かれて  
いる浸水エリア、浸水の深さ、避難所までのルート把握し  
「想定浸水深プレート」を設置することで、地域の防災意識を  
高め、いざというときの安全かつ  
スムーズな避難に貢献します。



## ステップ3

地図をもとに街を歩いてみる。

- 自分たちの街を実際に歩いてみて、危険箇所や避難ルートを確認してみましょう。
- 川が増水しても安全に通れるか、夜間でもスムーズな避難ができるかなども確認しましょう。



標識の設置場所をきめる。

- 街を歩いて感じたことを地図に落とし込んで、想定浸水深標識や避難誘導標識を設置する場所をきめます。



## ステップ4

想定浸水深プレートを設置する。

- プレートの作成
- 表示内容や深さの測量
- 事業者柱への設置申請などは、各市町村の防災担当窓口へご相談ください。

みんなが見やすいところにしっかりと！



平常時も防災訓練などで「洪水ハザードマップ」と一緒に活用する。

## ステップ1

自分の住んでいる地域を改めて考えてみる。

- 町内会や自治会など、自分の地域で自主防災の取り組みを行っていますか？
- 洪水がきたときに、いつ、どこに、どのように逃げるかイメージできますか？

この辺はだいたいどうなの？  
町内会全体での自主防災？  
避難所ってどこ？



## ステップ2

地域で話し合きましょう。

- 「洪水ハザードマップ」や地図を使い、川や道路の位置を確認し、洪水の被害が、どこに、どのくらいの規模で予想されているのか話し合しましょう。
- 地域の避難所と、そこまでの安全なルートを確認しましょう。



地図に書いてみましょう。

- 一人暮らしの高齢者や身体障がい者など、手助けが必要な人がどこに住んでいるか確認しましょう。
- 洪水災害経験者の話も聞いてみましょう。



# 災害は忘れたころにやって来る

忘れてはいけない大災害の記憶

昭和42年8月 羽越豪雨



流木で山となった小国大橋 【小国町】



長崎鉄道上流の出水状況 【中山町】



最上川の氾濫による出水状況 【大江町】



道路が川となり商店街が流木等の溜まり場と化した 【川西町】

人間の力や努力を超えた自然の脅威は必ずやってきます。

自分の命は、自分で守る気構えを早めの避難を！

地域の防災力が重要です！

# イメージできますか？ あなたの住む街が洪水になったら……

## 山辺町の須川周辺



0.0m

平常時のようす



0.5m

浸水深0.5mのイメージ図



1.5m

浸水深1.5mのイメージ図



2.5m

浸水深2.5mのイメージ図

## 天童市の最上川周辺



0.0m

平常時のようす



0.5m

浸水深0.5mのイメージ図



1.5m

浸水深1.5mのイメージ図



2.5m

浸水深2.5mのイメージ図

## 村山市の最上川周辺



0.0m

平常時のようす



1.0m

浸水深1.0mのイメージ図



2.0m

浸水深2.0mのイメージ図



3.0m

浸水深3.0mのイメージ図

※浸水の深さは、各地点で堤防が破れた場合の水面高から、地面の高さを引いた差を最大の深さとしています。

## 村山・置賜地区災害情報普及協議会

事務局：国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所 調査第一課 水防企画係  
〒990-9580 山形市成沢西四丁目3-55 電話023-688-8421(代)